
環 境 活 動 レ ポ ー ト

2011年版

作成： 環境管理責任者 長崎 紀夫

確認： 環境委員会事務局 長矢 好幸

この活動レポートは2010年10月から2011年
9月までを対象とする。

発行日 2011年11月10日

(有)キョーシン精工

〒399-4301 本社 長野県上伊那郡宮田村1997

[電話]0265(85)5115

[FAX]0265(85)5118

第2工場 長野県上伊那郡宮田村大田切

[電話]0265(85)3582

[FAX]0265(85)3646

目 次

I	事業活動の概要	P-1
	(1) 環境負荷の状況	
	(2) 環境活動への取組状況	
II	環境方針	P-3
III	環境目標と実績	P-4
	(1) 環境目標の設定	
	(2) 実績	
IV	主要な環境活動計画の内容	P-5
	(1) 環境方針、環境活動計画の発表	
	(2) 部門別活動計画の策定	
	(3) 環境活動の内容	
V	環境活動の取組み結果の評価	P-11
	(1) 電力使用量	
	(2) 埋立処分量	
	(3) 水使用量	
	(4) マネジメントレビュー	
	(5) 代表者による全体の評価と見直し	
	(6) 今後の活動の取組み	
VI	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P-13
	(1) 適用される主な環境関連法規と遵守評価	
	(2) 違反、苦情、訴訟等について	

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	I 事業活動の概要	2011年度版	頁 2/15

I 事業活動の概要

事業所名

有限会社キョーシン精工

代表取締役社長

長崎 紀夫

所在地

本社 ; 長野県上伊那郡宮田村1997

第2工場 ; 長野県上伊那郡宮田村大田切

環境管理責任者

長崎 紀夫

環境問題関連担当者

長矢 好幸

連絡先

TEL 0265-85-5115

FAX 0265-85-5118

事業内容 (認証、登録の範囲)

本社工場 モールド金型の製造、販売並びに自動車用マップランプの製造

第2工場 プレス製品及び樹脂成形品の製造、販売

事業の規模

(i) 資本金 1000万円

社員数 19名

派遣社員 2名

設立 1983年3月1日

敷地面積

本社工場 2192 m²

第2工場 1404 m²

(ii)

	単位	2009年度	2010年度	2011年度
売上総計	百万円	363	439	328
取扱い量	t	125	136	106
材料投入量	t	140	140	107.6

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	I 事業活動の概要	2011年度版	頁 3/15

(1) 環境負荷の状況

当社の温室効果ガス排出量、廃棄物等総排出量、水資源投入量の実績は以下のとおりです。

2011年10月 集計

		2009年度 (27期)	2010年度 (28期)	2011年度 (29期)
温室効果ガス排出量	総量(Kg/年)	254,528	294,395	280,645
廃棄物等総排出量	総量(Kg/年)	5,160	4,830	4,740
水資源投入量	総量(m ³ /年)	17,086	16,920	16,464

(2) 2011年度の環境への取組のチェック

当社の2011年度環境活動への取組み状況は以下のとおりでした。

2011年10月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	38	36	95%
	小計	164	174	92%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	25	22	119%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	85	88	97%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	49	48	114%
	小計	69	70	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	121%
	小計			121%
	合計	346	360	96%

環境への取り組みの自己チェックの推移 (別表)

取り組みの実施率の推移は以下のとおりです

2009年6月 集計	78%
2010年6月 集計	88%
2011年10月 集計	96%

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅱ 環境方針	2011年度版	頁 4/15

Ⅱ 環境方針

環境理念

(有)キョーシン精工は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、環境保全と継続的な改善に努め、人に優しい工場環境の実現を目指して行動します

環境方針

当社は、自社の事業活動が精密金型の製造販売、並びにそれらを用いたプレス製品及びモールド成形品、モールド組立品の製造であることを踏まえて、EMSの定められた適用範囲の中で以下の環境活動を行う

1. 電力・燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 資源・エネルギーの節減に努めます。
3. 不良による資源の消費量、廃棄物量を削減する
4. 分別・リサイクルによる廃棄物の減量化に努めます。
5. 節水による水資源の利用削減に努めます。
6. 環境側面に関する法令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
7. EMSの継続的な改善と事業活動による環境汚染の予防に努めます。
8. 環境に配慮した製品またはサービスを提供します。

平成23年10月1日

(有)キョーシン精工

代表取締役社長 長崎 紀夫

環境活動レポート		(有)キョーシン精工		
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2011年度版	頁 5/15	

Ⅲ 環境目標とその実績

(1) 環境目標の設定

環境目標は2010年9月に見直しを行い、2009年10月から2010年9月迄の数値を基準に4半期毎に削減目標を決め以下のように設定しました。

		中、長期目標	単年度目標
目標項目	基準年	2012年迄の目標値	2011年目標値
電力使用量の削減	2010年	基準年比4%削減	基準年比2%削減
廃棄物の削減	2010年	基準年比35%削減	基準年比30%削減
水使用量の削減	2010年	基準年比35%削減	基準年比30%削減
コピー用紙の削減	2010年	基準年比2%削減	基準年比1%削減

(2) 結果については次のとおりです

(電力使用量、埋立処分量については生産額100万円あたりの数値を示しています。)

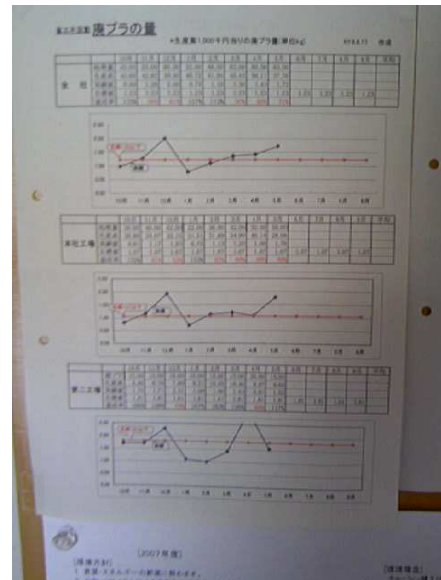
(目標値の設定は前年度同月の電力量kwh/100万円、廃棄物kg/100万円に削減目標を乗じた値です)

取組項目	本年目標		10年 10月	11月	12月	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
省エネ 電力使用量の削減	2010年比 2%削減	目標値	1,205	1,205	1,205	1,352	1,352	1,352	1,131	1,131	1,131	1,279	1,279	1,279
		実績値	1,852	1,470	1,655	2,004	1,599	1,656	1,679	1,798	1,766	1,698	1,571	1,565
	(Kwh/100万円)	達成率	65%	82%	73%	67%	85%	82%	67%	63%	64%	75%	81%	82%
廃棄物削減 埋立処分量の削減	2010年比 30%削減	目標値	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
		実績値	1.29	1.61	1.28	1.12	0.97	1.07	0.93	0.66	0.46	1.12	1.11	1.45
	(Kg/100万円)	達成率	109%	87%	109%	125%	144%	131%	151%	212%	304%	125%	126%	97%
省資源 水道使用量の削減	2010年比 30%削減	目標値	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84	2.84
		実績値	2.04	2.09	1.93	3.07	2.64	3.13	3.94	3.58	3.29	2.85	2.80	2.39
	(単位 m3)	達成率	139%	136%	147%	93%	108%	91%	72%	79%	86%	100%	101%	119%
コピー枚数の削減	2008年比 1%削減	目標値	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139	5,139
		実績値	4,840	4,377	4,891	3,753	4,025	4,462	4,422	3,098	5,068	5,659	4,787	4,483
	単位枚数	達成率	106%	117%	105%	137%	128%	115%	116%	166%	101%	91%	107%	115%

IV 主要な環境活動の内容

- (1) 環境方針、環境活動計画、異常事態対応に対する意識向上のため、各工場に環境掲示板を設置しています。

掲示板には活動計画表の内容
 廃プラの量、使用電力量
 水資源使用量、コピー使用量
 等についてグラフ化した推移
 を掲示して意識の向上を
 図りました



環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2011年度版	頁 7/15

(2) 上記、環境目標に対する具体的な部門別環境活動計画書を、新たに部門毎（第1製造（金型）、総務経理、第2製造1課、2課）策定し、計画にもとづいて活動に入りました。（2010年9月30日）
環境活動計画書は別表にて添付します。

(3) 活動内容

①電力使用量の削減（2010年度比2%削減）

i) エアコンの温度管理の徹底（暖房 22度 冷房 28度）。

節電シールを貼付し徹底化をはかりました

ii) エアコン使用時、ドアの開放厳禁。 (全部門)

iii) 休憩時、終業時の消灯の徹底。 (全部門)

節電シールを貼付し意識付けを行いました

iv) パソコン等、不使用時、休日は電源をきる。 (全部門)

v) 成形トライ時、タイマー使用等、無駄な

電力を使用しない計画的実行。 (金型部門)

トライを予約制にして予約表に記入することにより

計画的な実施をはかりました。



節電シール



節電シール

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2011年度版	頁 8/15

②埋立処分量の削減（2010年度比30%削減）

- i) ISO9001-2000の計画に依る重点工程不良低減（50%）。（全部門）
- ii) 樹脂材質の分別によるリサイクル化の徹底。（全部門）
分別と1部ランナーの粉砕により引き取り価格UPを実施しました。
（金額メリット26期比約10%UP） 第2製造部2課
- iii) トライ回数の削減（TO良品化）（金型部門）
- iv) 鋼材、非鉄類のリサイクル（金型部門）
（重量28期比10%UP）
- v) 古紙、雑誌、ダンボールのリサイクル化。（全部門）



古紙雑誌リサイクル籠



樹脂分別用ケース

③省資源化（2010年度比10%削減）（成形材料の歩留り改善、消耗品使用量の削減）

- i) 成形不良率を調査し削減する。段取りの効率化をはかる。
- ii) 提出書類、記録類、図面以外は使用済紙の裏面使用。
- iii) 不要なコピーを行わない。プリンター利用（全部門）
- iv) 切削工具のリサイクル化（金型部門）
- v) 節水対策として
手洗い場の流水量の調節
トイレタンクの流水量の調節（全部門）
成形機冷却水の循環使用

④油、廃油類の社内管理の徹底と緊急時の対応

- i) 不要な油類と使用する油類の整理、責任者の明示確認
- ii) 保管場所に非常事態用のウエス、オイルシートの設置確認
- iii) コンプレッサードレン水処理装置の設置と効果確認
- iv) 27期6月から③項の内容ですが、ワイヤのリサイクルを開始
- v) 緊急時の対応手順を確認し、対応訓練を実施しました。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	IV 主要な環境活動計画の内容	2011年度版	頁 9/15

i) 廃油、油類の管理



廃油保管場所



油類保管場所

ii) 切削油の処理とオイルシート等の管理



切削屑油抜タンク



オイルシート、吸着材

iii) ドレン水の分離装置

コンプレッサードレン水の
処理装置を設置して4年経過
規準数値内での処理が継続
できています。



環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2011年度版	頁 10/15

- iv) ワイヤ線のリサイクル化
 ワイヤ加工機にリサイクルボックス
 を設置、64Kgの使用済線
 をリサイクルにより20Kgの
 新線と交換できること
 になりました



- v) 緊急時対応訓練の実施

実施日 2011年 7月 5日

参加人数 18名

火災発生を想定して避難訓練、消火器使用訓練を実施



油漏洩対応手順書に基づいて、緊急時訓練を実施。

(消火器使用訓練)

(油漏洩対応訓練)

訓練結果の考察

緊急事態対応手順書に基づいて、火災時を想定した訓練を行った。

火災訓練として、実際に消火器を使用した消火訓練を行ない使用方法について学習した
 避難経路の確認、環境影響に対する処置、とともに近年の課題である地震災害
 に対する対応説明など、想定できる災害に対して危機感を共有できる訓練であった。

又、油漏洩時の対応訓練として、油の保管場所にて発生させないための注意事項、
 発生時の対応方法等の訓練を行った

環境活動レポート				(有)キョーシン精工			
標題	V	環境活動の取組み結果の評価		2011年度版		頁 11/15	

V 環境活動の取組み結果の評価

環境管理委員会は前記、取組み結果により以下の評価を行いました。

(1) 電力使用量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	65%	82%	73%	67%	85%	82%	67%	63%	64%	75%	81%	82%	74%
評価	×	△	△	×	△	△	×	×	×	△	△	△	△

結果の考察

10年10月から11年2月まで昨年の80%の操業度であり、不安定な状況で推移したが、4月以降20%から60%の操業度まで、落ち込んだため効率の悪化により一挙に達成率が下がってしまった。6月以降徐々に回復しており、金型部門の不安定はあるものの効率的な活動を望む。

(2) 埋立処分量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	108%	87%	109%	125%	144%	131%	151%	212%	304%	125%	126%	97%	143%
評価	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

結果の考察

10年度比30%削減の目標を設定したが、平均達成率143%と良好な推移を辿っている、更にスクリュウ洗浄、成形条件の見直し、周辺環境の見直しにより不良率の低減(0.1%目標)を目指したい。
尚、リサイクル部分を増やすための対策も実施しており、資源の有効利用の点からも更なる改善活動を期待する。

(3) 水道使用量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	139%	136%	147%	93%	108%	91%	72%	79%	86%	100%	101%	119%	106%
評価	○	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○	○	○

結果の考察

10年度10月から11年3月までの間、昨年より操業度が低いながらも水道使用量目標はクリアしたが4月以降の大幅減産により使用量目標未達成という結果になってしまった。
6月以降生産量も増えており、今後は省人化を目的とした改善を進め、使用量のチェックを確実に実施することで達成率を向上させたい。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	V 環境活動の取組み結果の評価	2011年度版	頁 12/15

(4) マネージメントレビュー

環境委員会において環境活動の結果の評価から
以下のマネージメントレビューを行いました

(4-1) 環境経営システムの有効性及び法的遵守
システムの有効性は有りと判断する、 法的遵守状況は違反なし

(4-2) 環境への取り組みの実施評価
今期の入って生産の減少が続いており、影響が非常に大きい。

評価内容	10年10月～12月	11年1月～3月	4月～6月	7月～9月
電気使用量の削減	是正(平均 73%)	是正(平均 78%)	是正(平均 65%)	是正(平均 79%)
廃棄物の削減	良好 (平均 102%)	良好 (平均 133%)	良好 (平均 222%)	良好(平均 116%)
水使用量の削減	良好 (平均 141%)	良好 (平均 98%)	是正(平均 79%)	良好(平均 107%)

(4-3) 環境方針、環境活動計画は変更の必要はなしと判断する、
環境目標の廃棄物削減の内容について目標値を変更した結果(30%減)良好

(5) 代表者による全体の評価、見直し
29期に入って売上高平均は昨年比 75%、一昨年比では約 92%です
金型部門の売上昨年比 107%、第2製造部は昨年比 61% であり
第2製造部の要因が非常に大きいと言えます、今後の経営改善に
向けて徹底した要因分析、実施計画の立案、計画の実施に向けて
踏み出さなければなりません
利益確保、資源の有効利用のためにも、昨季以上に
『営業活動の活性化』『工程不良の削減』、『生産性の向上』を
全体テーマとして活動し、ひいては環境負荷の低減を図りたいと思います。

(5-1) 環境効率 (前年比)

i) 総エネルギー投入量	96.7%
ii) 総物質投入量	75.7%
iii) 水資源投入量	54.6%
iv) 温室効果ガス排出量	99.6%
v) 総製品生産量	76.6%
vi) 廃棄物等総排出量	29.8%
vii) 総排水量	96.5%
viii) OUTPUT/INPUT (割合)	99.0%

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	V 環境活動の取組み結果の評価	2011年度版	頁 13/15

(6) 今後の活動の取組み

i) 二酸化炭素排出量の削減対策

経営環境の回復傾向が見えない中ではあるが
 太陽光発電など、自然エネルギー利用も順次計画したい
 また、断熱塗料という新しい技術を積極的に取り入れたい
 灯油、燃料の使用量削減の具体的目標値設定と計画を行う
 廃棄物の削減に向け、不良低減と、
 より一層の分別化とリサイクル化を推進します。

ii) 省資源化

成形材料の削減のための具体的対策を立て
 工程不良、品質不良に依る資源のムダの削減に努めます。
 資材その他の使用量削減とリサイクル化の目標計画を立案し
 実施します。
 水資源使用量の削減について、再度目標計画を立案し
 活動します。

iii) 周辺地域への活動の拡大

村内のエコアクション21認証活動の活発化に伴い
 同時に周辺地域へ環境活動の輪を広げることによって
 社内活動の周知と、連帯を図っていきたいと考えます。

以上を更に活動目標として加えると共に、ISO9001 マネージメントシステム
 と連動したシステムとして、環境保全と継続的な改善に
 積極的に邁進します。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	VI環境関連法規への違反、訴訟等の有無	2011年度版	頁 14/15

VI 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法規と遵守評価

2010年9月20日実施

区分	関連法規	影響項目	実施事項	遵守評価
水質	水質汚濁防止法 浄化槽管理法	浄化槽 コンプレッサー	・浄化槽設置届出 ・水質検査 ・ドレン水処理	○
騒音	騒音振動規制法	コンプレッサー	騒音の測定と記録	○
廃棄物	廃棄物処理法	金属屑 廃油 廃プラ	・保管場所の整備 ・委託契約の締結 ・産廃管理表の管理 ・マニフェスト交付 状況を6月30日 までに県へ報告	○
	フロン回収破壊法	業務用エアコン	回収文書、契約書の 保管	
化学物質	消防法	灯油	・灯油タンクの管理 ・少量危険物の管理	○
その他の 要求事項	顧客要求 (グリーン調達規定) EA21 審査登録	環境負荷物質	・メーカーエビデンス 取得 ・環境レポート公開	○

(2) 違反、苦情、訴訟等について

平成23年9月現在において関連法規への違反及び苦情、問い合わせ、訴訟は1件もありませんでした。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

また、(1)により環境関連法規について自ら遵守評価する事によって遵守状況を確認しております。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	別表	2011年度版	頁 1/15

環境活動への取り組みの自己チェック評価の推移

2009年6月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、新エネルギーの拡大	8	12	67%
	省資源、グリーン購入	16	18	89%
	節水、水の効率的利用	10	16	63%
	小計	34	46	74%
事業活動への アウトプットに 関する項目	二酸化炭素の排出抑制、大気汚染の防止	30	40	75%
	化学物質対策	4	8	50%
	製品の開発・設計等における環境配慮	7	8	88%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	42	54	78%
	排水処理	22	24	92%
	輸送に伴う環境負荷の低減	25	32	78%
	小計	130	166	78%
環境経営システム	環境保全のための仕組み・体制の準備	53	62	85%
	環境教育、環境保全活動の推奨等	13	22	59%
	情報提供、社会貢献、地域の環境保全	14	16	88%
	エコビジネス、技術開発	4	4	100%
	小計	84	104	81%
	合計	248	316	78%

2010年6月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	88	100	88%
	省資源、	32	32	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	34	40	85%
	小計	154	172	90%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	36	46	78%
	排水処理	20	22	91%
	その他生活環境に係る保全の取組等	3	6	50%
	小計	65	86	76%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	18	18	100%
	製品及びサービスにおける環境配慮	26	28	93%
	小計	44	46	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	100%
	小計			
	合計	291	332	88%

2011年9月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー	92	104	88%
	省資源	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	38	40	95%
	小計	164	178	92%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	25	22	119%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	85	88	97%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	49	48	114%
	小計	44	46	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	34	28	121%
	小計			
	合計	344	360	96%